

STOP感染症! 先進ソリューション ガイドブック



監修

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会

STOP感染症2020戦略会議

STOP感染症先進ソリューション普及促進タスクフォース

感染症 × 災害

感染症下におけるあるべき避難所モデルとは？

医療施設、老健施設、学校、店舗、ホテル、スポーツ施設……

マスギャザリングでの感染症対策のヒントがこの中にある。

注目の感染症対策の

先進ソリューションを集めたガイドブック。

このガイドブックについて

このたびの新型コロナウイルス感染症の世界的な広がり、人々のライフスタイルにこれまでにない大きな影響をおよぼしていますが、政府や専門家、自治体、メディア等がこれまでに発信してきた様々な情報を参考にして、自分にできる感染症対策を生活の中に取り入れ、日々実行されている方も多いことと思います。

一方、日本は災害大国であり、2011年の東日本大震災や2016年の熊本地震は、今なお被災地に大きな爪痕を残していますし、南海トラフ地震や首都直下地震の発生も心配されています。毎年の台風や、近年頻発しているゲリラ豪雨、局地的大雨など、私たち、この日本では常に「その時」に備えて、防災・減災への取り組みを続けなくてはならない宿命を背負っています。

「感染症の流行下に自然災害が発生したら？」

実際に、東日本大震災では、被災地の医療崩壊を引き起こすとともに、避難所での感染症拡大が大きな問題となりました。いわゆる“感染症”と“災害”のダブルクライシスの発生です。

このガイドブックは、普段の暮らしにおける感染症対策に加えて、医療施設、高齢者施設、教育施設、文化施設、商業施設などの、平時に人が集まる環境と、災害時の「避難所」という環境、すなわち平時および有事における社会全体の感染症拡大防止に役立つ方策の情報提供を目的として編集されました。

感染症の拡大防止には、手洗いや咳エチケット・マスクの着用といった、感染防止対策の励行、一人ひとりの心がけが大切ですが、個人では対応できない、人が集まる環境や施設に施す対策も極めて重要です。個人一人ひとりのアクションと環境全体のハード面での備え、この両者の対策が社会に定着化し、当たり前機能するようになってはじめて、平時から有事にシームレスに対応できる、

“感染症そして災害に負けない強い日本”を実現できると言っても過言ではないでしょう。

掲載した内容のベースになっているのは、「国土強靱化」を民間の立場から推進している、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会（会長・広瀬道明・東京ガス取締役会長）が、2019年度から2020年度にかけて開催した、「STOP 感染症2020戦略会議」および「災害関連死ゼロ研究会」での検討・検証結果です。二つの会議体で得られた知見、および有効性が認められる製品やサービスなど、先進的な感染症対策ソリューションを取り上げ、これらを紹介することで、感染症にも、自然災害にも強いまちづくりや施設運営に活用してもらうことを意図しています。避難所の感染症拡大防止については、2020年8月31日に、青森県今別町のいまべつ総合体育館で行った、『「避難所における感染症防止」実証検証』の結果も反映しています。

新型コロナウイルス感染症は、100年に一度の感染症ではありますが、今後とも、その他の多くの感染症、そして未知なる感染症の流行も想定しておく必要があります。

公共施設や避難所の設置者である地方自治体をはじめ、公的施設、民間施設の運営に携わっている皆さまには、このガイドブックを大いに参考にさせていただき、平時の感染症対策とともに、大規模自然災害など、有事、いざという時に、一人でも多くの命を救える環境をつくっていただくことを願ってやみません。

2020年11月

「STOP 感染症2020戦略会議」座長
東北医科薬科大学医学部 感染症学教室 特任教授
東北大学 名誉教授
賀来 満夫

STOP感染症2020戦略会議 委員・オブザーバー

※敬称略、順不同。肩書は2020年4月時点のもの。

座長

賀来 満夫

東北医科薬科大学 医学部感染症学教室 特任教授
東北大学 名誉教授

副座長

加來 浩器

防衛医科大学校 防衛医科大学研究センター 広域感染症疫学・制御研究部門 教授

委員(学識)

相田 潤

東北大学 大学院歯科研究科 国際歯科保健学分野 准教授

井手口 直子

帝京平成大学 薬学部 教授

梅澤 和夫

東海大学 医学部 准教授

岡部 信彦

川崎市健康福祉局 川崎市健康安全研究所 所長

國島 広之

聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授

金谷 泰宏

東海大学医学部 臨床薬理学 教授

小嶋 修一

株式会社TBSテレビ 報道局解説委員 兼「JNN報道特集」

田上 順次

東京医科歯科大学 特命副学長

葛西 真治

大学院歯学総合研究科 歯学系専攻 口腔機能再構築学講座・蝕制御学 教授

近藤 久禎

国立感染症研究所 昆虫医学部 部長

松岡 克善

国立病院機構本部 DMAT事務局次長・厚生労働省 DMAT事務局次長

丸山 嘉一

東邦大学医療センター 内科学講座消化器センター教授

三和 護

日本赤十字社医療センター 国内医療救護部長／国際医療救援部長

吉田 真紀子

株式会社日経BP 日経メディカル編集 編集委員

和田 耕治

東北大学 大学院医学系研究科 内科病態学講座 総合感染症学分野助教

国際医療福祉大学 医学部 公衆衛生学 教授

委員(団体)

石川 広己

公益社団法人日本医師会 常任理事

蒲生 美智代

NPO法人チルドリン 代表理事

栗原 正紀

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 代表

渋谷 智恵

一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 理事長・院長

鳥田 光明

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程 課長

清水 兼悦

公益社団法人日本薬剤師会 常務理事

三井 博晶

公益社団法人北海道作業療法士会 会長

千保 聡

札幌医科大学 保健医療学部 臨床教授

武藤 敦彦

公益社団法人日本歯科医師会 常務理事

茂手木 眞司

日本防疫殺虫剤協会 専務理事

本吉 淳一

一般財団法人日本環境衛生センター 環境生物・住環境部部長

公益社団法人日本ペストコントロール協会 理事・事務局長

日本チェーンドラッグストア協会 事務局長

委員(企業)

阿部 洋史

富士フイルム株式会社 メディカルシステム事業部

田畑 彩生

サービスソリューション部 部長 兼 事業開発グループ 統括マネージャー

中川 亮

アース製薬株式会社 事業開発部 係長

高橋 志達

アースヘルスケア株式会社 代表取締役社長

木原 寿彦

ミヤリサン製薬株式会社 取締役

エネフォレスト株式会社 代表取締役

オブザーバー

日下 英司

厚生労働省 保健局 結核感染症課 課長

田口 円裕

厚生労働省 医政局 歯科保健課 課長

中尾 晃史

内閣府 政府統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)

山本 要

内閣官房 東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局 参事官

山本 泰司

内閣官房 国土強靱化推進室 参事官

(敬称略)